

## 部活動の地域連携・移行 意見交換会

第1回 日時：令和5年6月 6日（火） 参加者73名

第2回 日時：令和5年8月25日（金） 参加者27名（ス：17名 文：10名）

### 1 主な意見

	市町村関係者	スポーツ・文化団体等関係者
指導者	・教員の兼職兼業が課題	・指導者同士のネットワークを有効に活用してもらいたい
	・部活動を指導したい教員の活躍の場が課題	・有資格者が活躍できていない ・無資格者でも指導したい人が多い
		・高齢化が進んでおり、後継者の育成が必要
		・文化関係は指導者資格がないため、今後、責任の所在に悩むことになる。
財源	【共通】 ・指導者の報酬、楽器の運搬等の財政支援	
	・指導者謝金に対する支援	・通常業務と部活引率業務の両方になると人的・財政的な課題がある。
	・恒久的な財源確保の課題	・引率業務に対する財政支援があるのか。 ・保護者負担なのか。ボランティアなのか。
手段方法	・地域移行を進める上での手順がわからない。	
	・協議会の運営方法等がわからない。	
	・種目によって移行の方法が違うためすべて同じやり方の移行は難しい	
連携	・行政と競技団体等との連携が取れていない。	
	・行政と競技団体等が同じイメージを持つことが重要。	
	・競技志向ではない生徒の活躍の場の確保が必要になる。	
活動場所	【共通】 ・学校施設の利用（学校開放）は可能なのか。 ・活動場所の確保が困難	
		・学校施設の有効利用
周知理解	【共通】 ・積極的な周知、広報活動が必要	
		・保護者の理解、学校のバックアップが必要
受け皿		・協力したい ・地域や条件によっては可能

### 2 市町村の具体的な状況

倉敷市 保護者・生徒・団体にアンケート調査を実施した。少子化が進んでいる地域のほうがスムーズに移行できると思う。

備前市 地域移行を何から手を付ければいいのかわからないことが課題

総社市 指導者に対する予算を取っている。全ての種目同じやり方は困難であるため、できるところから進めている。

瀬戸内市 行政と地域団体との連携が取れていない。協議会を立ち上げてどう進めていけばよいかははっきりわからない。

赤磐市 協議会が中心となって指導者を確保する。大学（IPU）と連携している。

和気町 国の委託事業で実施している。指導者の確保が課題



### 3 課題

- (1) 人材バンクの充実
- (2) 地域クラブ活動に向けた環境整備（運営団体・実施主体の整備等）
- (3) 財政支援の方法（何に、どのような支援を行うか。）

### 4 今後の予定

- (1) 第3回意見交換会 11月頃開催予定
  - ・市町村主管課及び教育委員会が対象
  - ・第2回意見交換会の意見を報告
  - ・市町村の要望等の意見交換
- (2) スポーツ・文化団体のまとめた意見を市町村へ情報提供
- (3) 第4回意見交換会（最終） 2月頃（予定）
  - ・県のまとめ等